

教員調書

信州大学人文科学系

履 歴 書		
フリガナ 氏 名	シン シ ュ ウ タ ロ ウ 信 州 太 郎	性別 男
生 年 月 日 (年 齢)	(元号) 年 月 日 (満 歳)	
本 籍 地 又 は 国 籍	長 野 県	
現 住 所	松本市旭 3-1-1 ○○住宅A-1号	
連 絡 先	E-mail : 123456789@abcd.ac.jp 電話番号 : 090-1234-5678	
学 歴		
年 月	事 項	
昭和××年×月 昭和××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月	○○大学○○学部○○学科卒業(○○学士) ○○大学大学院○○研究科○○専攻修士課程修了(○○修士) ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程(博士後期課程)単位取得満期退学 アメリカ○○○○○○大学留学(フルブライト留学生)(昭和××年××月迄) ※学生時代の留学は学歴、教員の留学は職歴に記入します ○○大学大学院○○研究科○○専攻博士課程(博士後期課程)修了(○○博士)(○○大 学・甲・××号)	
職 歴		
年 月	事 項	
平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月	○○大学助手(昭和××年×月迄) ○○大学研究生(昭和××年×月迄) ※学歴ではありません ○○大学聴講生(昭和××年×月迄) ※学歴ではありません 株式会社○○○経理部経理課長(平成××年×月迄) 無職(平成××年×月迄) ※空白期間を作らないでください ○○大学○○学部助教授(平成××年×月迄) ○○大学○○学部教授(現在に至る)	
学会及び社会における活動等		
年 月	事 項	
昭和××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月 平成××年×月	日本○○学会会員(現在に至る) ※過去から現在の順に記入してください ○○学会会員(現在に至る) 日本○○学会理事(平成××年×月迄) ○○県○○○審議会委員(現在に至る) 平成××年度文部科学省補助金(基盤研究C2)「○○○○○○○○○○の研究」(課題番 号:××××××)に基づく研究を研究代表者として実施 ○○大学○○学部非常勤講師(平成××年×月迄) ※職歴にいれないでください	

賞 罰 ・ 処 分 歴 等								
年 月	事 項							
平成××年×月 平成××年×月	第××回日本〇〇学会賞（日本〇〇学会） 第××会〇〇大賞（〇〇〇〇）							
勤 務 の 状 況								
勤 務 先	職 名	学部, 学科等 (所属部局) の名称	担当授業科目	毎週担当授業時間数				備 考
				専任	兼担	兼任	計	
〇 〇 大 学	教授	全学教育機構 (共通教育)	〇〇〇〇を説く	2			2	前期
		人 文 学 部 〇 〇 学 科	〇〇〇〇演習	4			4	通年
			〇〇〇〇概論	2			2	後期
			〇〇〇〇実習	1			1	通年
人 文 科 学 研 究 科 〇 〇 専 攻	〇〇〇〇特別研究IA	4			4	通年		
	〇〇〇〇特別演習IB	1			1	通年		
	日本〇〇特論	2			2	前期		
<p>※「専任」、「兼担」及び「兼任」の区分は、「専任」の欄には所属する大学等の所属する学科等の授業を、「兼担」の欄には所属する大学等の所属しない学科等の授業を、「兼任」の欄には所属する大学等以外の授業を記入してください。</p> <p style="text-align: center;">上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: center;">(元号) 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">氏 名 信 州 太 郎</p>								

教育研究業績書

(元号)

年 月 日

氏名 信州太郎

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 1. ○○○○を読む 2. ○○○○演習 3. ○○○○特別研究IA 4. 授業外における学習促進の試み	平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～	○○大学高等教育システム開発センターの講義。○○○○○○ [講義内容200字程度] ○○大学○○学部の専門授業。演習形式。 [講義内容200字程度] ○○大学大学院○○科学研究科修士課程○○専攻の演習形式の専門授業。 [講義内容200字程度] [ゼミ合宿, フィールドワーク, オフィスアワー, e-Learning, BlackBoard, マルチメディアの利用, ウェブサイトの開設や利用, ピュアレビュー, レジュメの工夫を自由に記述]
2 作成した教科書, 教材 1. 『○○○○○の研究』 2. 『○○○の記憶と記録』	平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～	※著書との重複可です。 平成××年度○○学部開講「○○○○演習」の教科書として指定。再掲著書1参照。 平成××年度・○○学部1年次必修科目「○○○○概論」の指定教科書として使用。再掲著書2参照
3 その他 1. 外国人研究者への研究支援等 2. 海外における講演 3. 市民開放授業 4. ○○○ラジオ「○○○○学」講師	平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～ 平成××年 ××月～	※ここには大学における組織・団体としておこなった職務を記述してください [概要60字程度] [概要60字程度] [概要60字程度] [概要60字程度]
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許 1. 中学校教諭一級普通免許 (社会・長野・昭××中一普第××××号) 2. 高等学校教諭一級普通免許 (国語・長野・昭××高一普第××××号)	昭和××年 ××月～ 昭和××年 ××月～	
2 特許等 なし		
3 その他		

1. ○○学部○○委員会委員	平成××年 ××月～ 平成××年 ××月	[概要60字程度]		
2. ○○学部○○委員会委員長	平成××年 ××月～ 平成××年 ××月	[概要60字程度]		
著書，学術論文等の名称 当該分野の論文・著作	単著， 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所，発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
<p>※過去から現在へと記述し、冒頭にNo.を付けてください</p> <ul style="list-style-type: none"> 論文の場合は，自身が執筆したページを明記してください。 共著書・共同執筆論文については，全ての共著者名・共同執筆者名を省略せずに明記してください。 近日中に刊行することが明確になっている著書（全ての原稿が出版社に渡り，出版社が刊行を約束したもの）又は論文（編集者が最終原稿として受け付けたもの）については，業績に含めて構いません。 				
(著書)				
1. ○○○○	単著	平成××年 ××月	○○出版	P260 [概要200字程度]
2. ○○○○	共著	平成××年 ××月	○○大学出版会	信濃次郎編。共著者：[執筆順に全員]。第○章「○○○○」(pp×～×)を分担執筆。[概要200字程度]
(学術論文)				
1. ○○○論について	単著	平成××年 ××月	日本○○研究第 ×巻第×号pp× ～×	[概要200字程度]
2. ○○○に関する研究	単著	平成××年 ××月	○○大学○○学 部紀要第×号pp ×～×	[概要200字程度]
(その他)				
書評				
1. ○○○著『○○○○』	単著	平成××年× ××月	○○新聞日曜版 ×月×日	[概要200字程度]
辞典・事典類				
1. ○○○学研究事典	共著	平成××年 ××月	○○出版	○○○，○○○の項目を担当執筆 [概要200字程度]
シンポジウム・座談会				
1. 座談会○○○○につ いて語る	単著	平成××年 ××月	○○○雑誌第× 号pp×～×	○○大学教授○○○○との対談 [概要200字程度]
その他				
1. 校注○○○○	共著	平成××年 ××月	○○○○○	第×章○○○についての校訂と注 釈。[概要200字程度]
学位論文				
1. ○○時代の○○○に 関する基礎的研究	単著	平成××年 ××月	○○大学	博士(○○)・乙・第×××号 [概 要200字程度]
<p>著書：○○編，学術論文：○○編，その他：○○編，学位論文：○○編</p>				